

三年間富士山を見てきた思い出

H 21年 8月 30日

四年生の時ハ合目でおオムルナバチや
 キタテハを見つけておどろき単純に喜
 ぶ人だ。今ラ年六年生で山頂けんがサホ
 の馬の北目でぼくがオオムルナバチにオオム
 四年生の時スカイラインでしかたに
 へ云った。幸運だと書いたが、五年生の
 時、清えろボランティアに矢参加して、しか
 のフンの多サヒびっくりした。六年生
 になつて、新聞紙上にとまどキ、シカの
 木材被害の記事を見た。

五年生の時、94年3月の八月十三日
 の初か大雪、このしろ池の出現を
 目の前にして大興奮した。

今ラ年、六年生になつてから、けんがサホの
 山崩や落石が新聞にあった。
 残雪で三年続きの山開きがくわ、さらに長びく
 フクと大雨。

スカイラインで初めてとらや落石事故

などだった三年間の変化だけと幸運
 とばかりよろこんではいられない事を感じた。
 富士山は悪リ方向に進んでいいる。
 地球温暖化のびのびと減と広く世の中に行き
 わたる来た今、心配がぼくの足元にもきてい
 事を定感した。

富士山は、昔年比べてまたなくなつてい
 れりほう宮とカ神のちどる山には富士わしくなり
 山を大事にしてくれ!!
 自然心を大事にしてくれ!!
 とぼくは声を大きくする。

21年(2009年)6月17日 (水曜日) (中) (18)



富士山の緑を守る
 南沢の富士宮でシカ被害調査

シカは、山頂付近の樹木を食害し、山容を損なっている。富士宮町では、シカ被害の調査と対策を行っている。調査員は、樹木の幹にシカが噛み付いた痕跡を確認している。

シカ被害から樹木守れ

富士宮町では、シカ被害の調査と対策を行っている。調査員は、樹木の幹にシカが噛み付いた痕跡を確認している。



シカの被害から樹木を守るため、樹木の幹に保護ネットを巻いている。保護ネットは、シカの噛み付きを防ぐ効果がある。

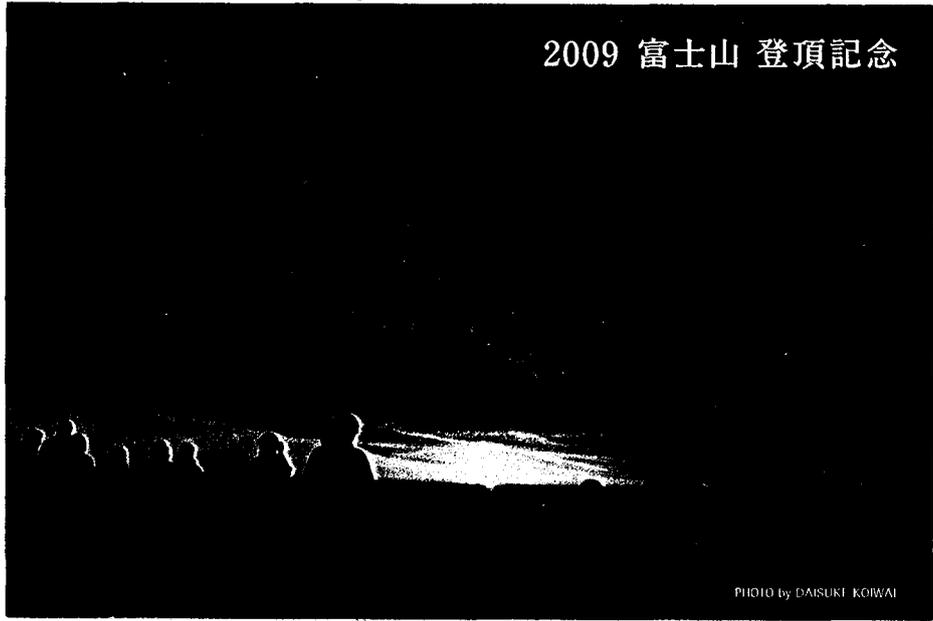


PHOTO by DAISUKI KOWAI

終わりに

なぜ山が好きなのか？「もくもくと頂上を目指して歩く時間が好きだから。なぜ富士山が好きなのか？「日本一だから。」

三年前の百々永山から始まった。多くの富士山人生。いろいろな体験をしたり見たり聞いたりして、頭の中が大きくふくらんだ。楽しかった。

先日、浅野先生が、お話ししてくれた。高山病になっても、一歩ずつも前へ進もうと努力する気持ちが大切だ。このからの人生で、いろいろな困難にぶつかっても、立ち向かっていくと気持ちが大切だぞと。

小學生最後の百々休みに、宮里山新聞をまとめた。新聞記事や講座の情報を教えてくれた祖母。パソコンの使い方を教えてくれた父。いっしょにいろいろな所に行ってくれた祖母、妹、弟。そしてぼくには、あこがれの講座の産辞。山を知りつくしている山小屋のおじさん。地元のタクシンのおじさん。富士山を世界遺産にしようとかんがえているテレビ、新聞関係の人。みんな、ありがとう！！
これからも、多くの宮里山人生は、まだまだ続くので、来年は、一合目から、登山するぞ！！